

平成29年度 環境行動計画

1. 環境保全活動への取組みについての現状把握と課題

(「グリーン経営推進チェックリストに基づく現状把握と今後の課題」)

(1) 環境保全のための仕組み・体制の整備

「環境保全」に対する意識は浸透、日常業務に組み込まれている。社会貢献・地域への環境管理寄与等への関連意識が十分でない点を是正しレベル3への取り組みが課題。

(2) エコドライブの実施

既にデジタル・タコグラフを全車（事業用35台）に搭載しており、認証項目レベル2もクリア出来ている項目もあり、レベル2未達成項目クリアとエコに繋がる車載装置（蓄熱マット・蓄冷式クーラー等）業務対応、費用対効果を勘案し導入を検討。

(3) 低公害車の導入

国・自治体の定める認定車両は既に導入している。しかしながら事業用車両は大型であるため“ハイブリット”導入は難しい。

(4) 自動車の点検・整備

概ね取り組みは完遂できている。ディーラーとタイアップし車両の高性能化、環境対策複雑化に合わせ必要最小限度の車両知識の把握、習得を指導・支援し環境保全への対応に努める。

(5) 廃棄物の適正処理およびリサイクルの推進

事務職・現業職共に適正に処理・対応はできている。「環境保全意識」の維持・向上のため“業務懇談会”等で啓蒙に努める。

(6) 管理部門（事務所）における環境保全の推進

既に不定時使用の場所（手洗い他）における照明はセンサー作動を装備しており不要照明の消灯、空調機の使用に際しては必要最小限度にとどめ、作動に際しては「設定奨励温度」を徹底し外気導入も併用している。

また廃棄物品も絶対量削減にも取り組んでいるが、レベル3系統的取り組みが課題。

2. 目標

- (1) 系統立った「環境保全意識」の推進
- (2) 「資源保全」への意識向上
- (3) 現状のブラッシュ・アップ

3. 目標達成に向けた具体的な取り組み内容

- (1) 系統立った「環境保全意識」の推進への具体的な取り組み
「環境保全意識」の啓蒙により近隣地域・社会貢献を意識しレベル3クリアに向け継続的に従業員への主旨浸透・理解を目的として教宣を図る。
- (2) 「資源保全」への意識向上への具体的な取り組み
 - ・「燃費向上意識」の向上に、現在すでにデータ化されている燃料・燃費・走行資料他を有効活用し達成を目指す。
 - ・「現状打破」慣性を排除し視点を変えた「環境保全」に対する意識向上への支援・指導の会合を設定・励行し達成を目指す。
 - ・アイドリングストップ等エコドライブにかかる対策の周知徹底と実践。
- (3) 現状のブラッシュ・アップへの具体的な取り組み
 - ・事務・現業に応じた3R（Reduce 発生抑制・Reuse 再使用・Recycle 再生利用）の知識概要ではなく実践対応にむけたレクチャーの場の設定、施行。
 - ・目標達成に向け「精神的環境整備」既に実施の事務所・現場の周辺清掃、整理・整頓の整備制度を継続。
 - ・チェックリストをキーパーソン（環境保全推進・管理責任者）に配布、月例点検・照合を義務付け、不適合発覚に際し原因究明と是正に努める。

平成29年 7月 1日
近畿エクスプレス株式会社
環境保全管理責任者

代表取締役 小見山 利夫